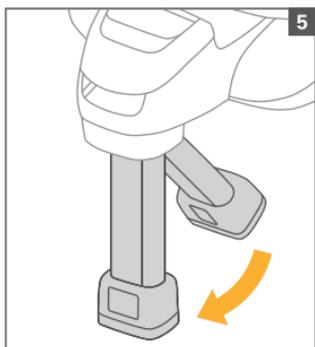
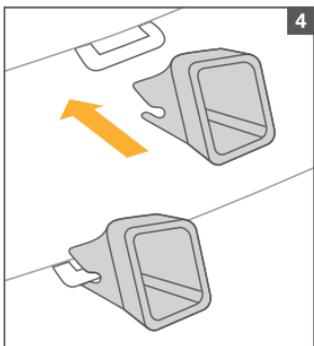
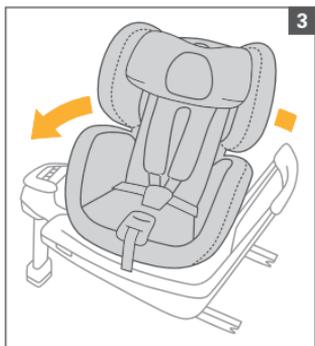
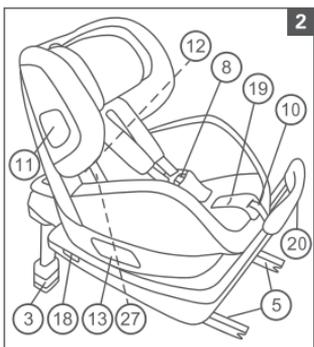
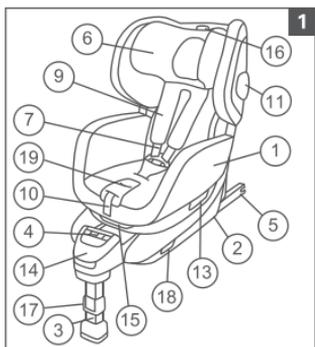


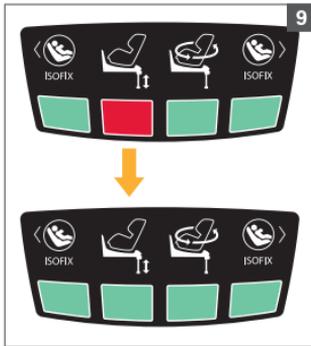
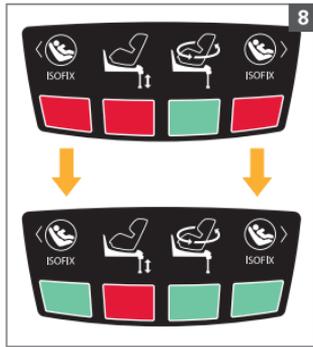
RECARO

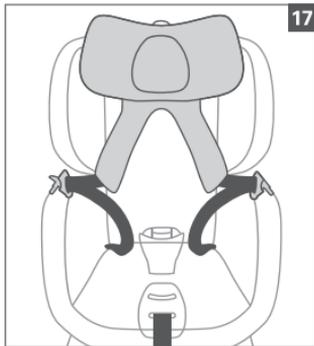
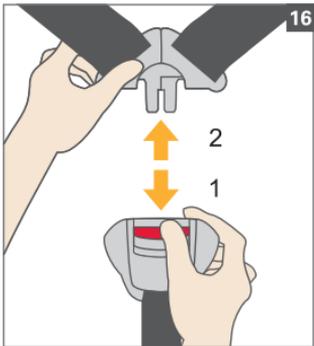
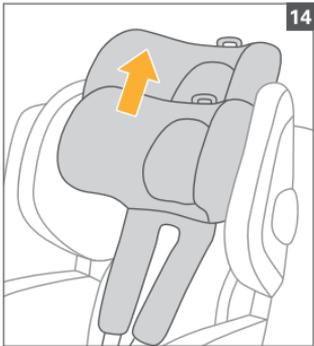
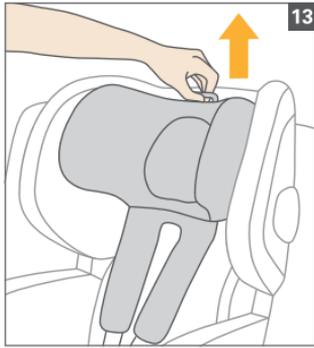
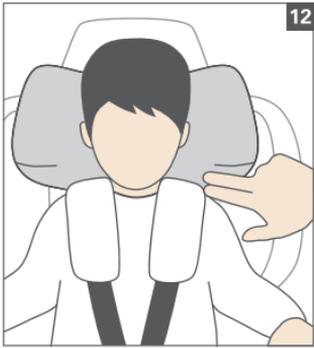
SALIA
取扱説明書 兼 保証書

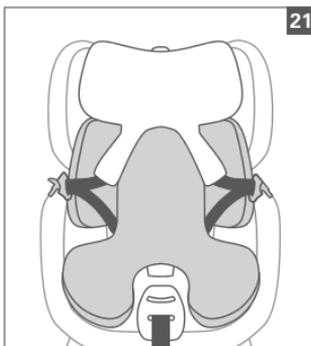
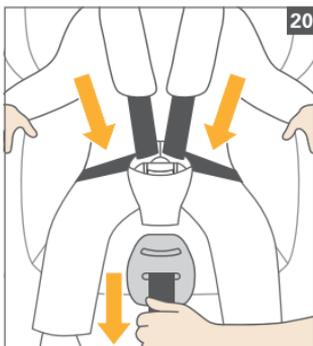
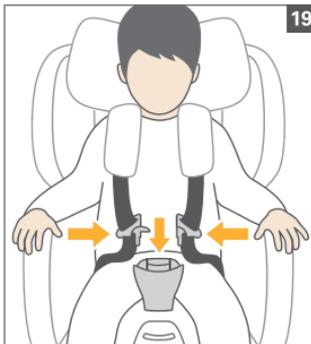
UN129 i-Size 身長40cmから105cm以下
4才頃まで

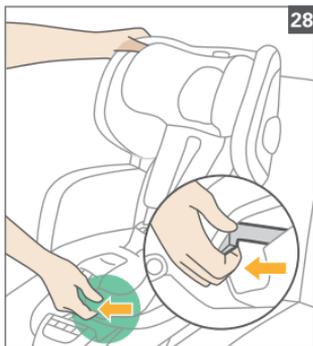
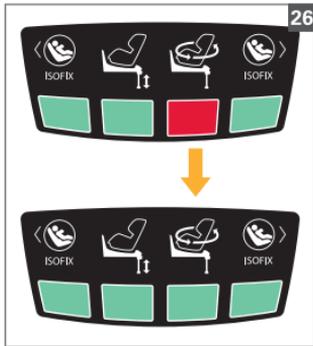
www.recaro-kids.com

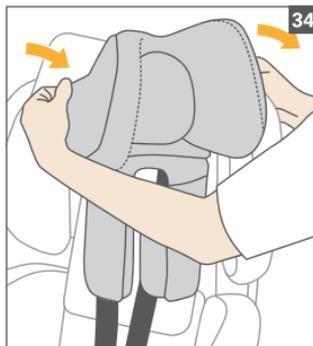
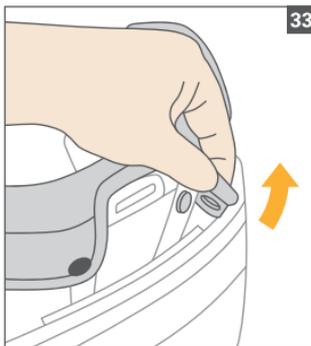
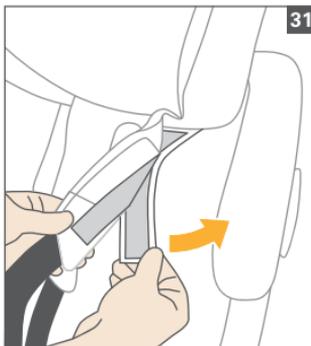
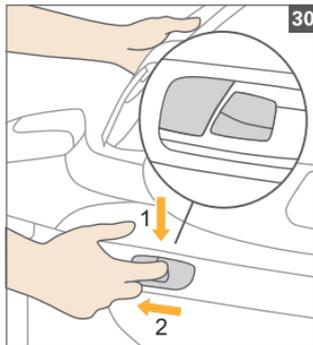


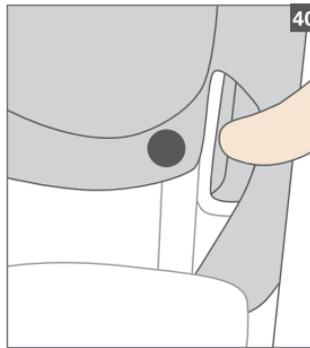
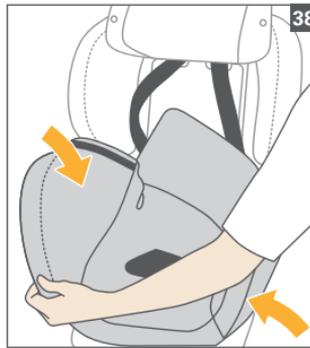
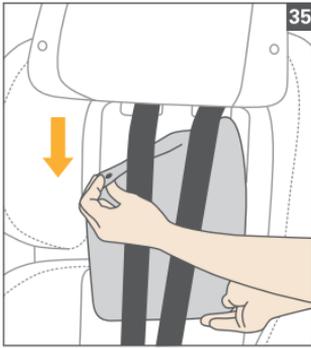


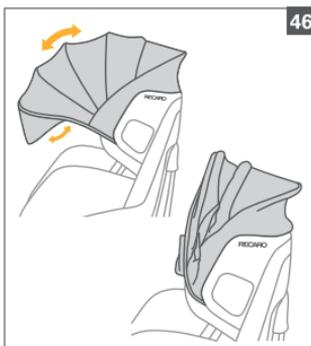
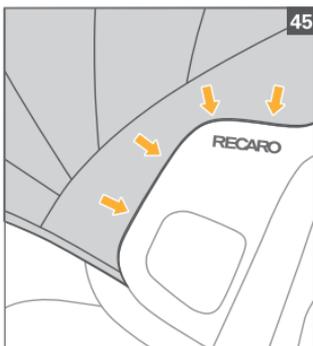
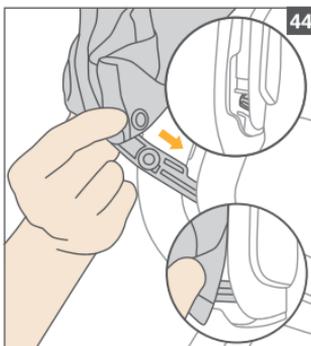
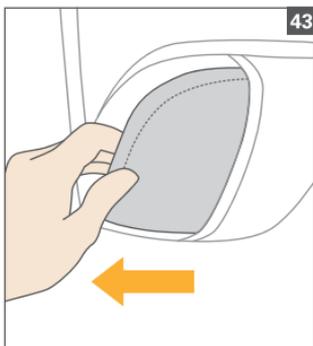
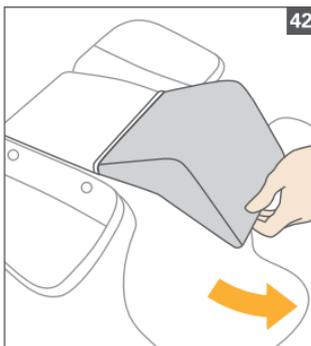
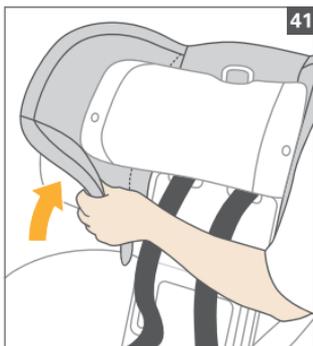












SALIA

UN129 i-Size 身長40cmから105cm以下 4才頃まで

この度はレカロのチャイルドシートをお選び頂き誠にありがとうございます。

レカロは100年以上にわたり自動車、航空機、レーシングカーなどのシートに革命をおこしてまいりました。他の追随を許さないシートに関する経験や専門知識が、当社のあらゆる製品開発に注がれています。

レカロは常に安全、快適さ、使いやすさおよびデザインにおいて、常にお客様の期待を超える製品を提供できることを究極の目標としております。

本製品は身長40cmから105cm以下、体重18kg以下のお子様向け、i-Size(アイサイズ)チャイルドシートです。車両への取付けはISOFIX取付装置を使用します。お子様の月齢が15ヶ月かつ身長76cmを超えるまでは必ず本製品を進行方向に対して後向きで使用ください。

本製品は主に車両のi-Sizeチャイルドシート対応座席に取り付けることができます。取付けできる座席については車種適合リスト及び車両の説明書を確認してください。

本製品はUN R129.00の試験をクリアし承認されています。



本製品の仕様は予告なく変更することがあります。

重要:この取扱説明書はいつでも読み返すことができるよう、シートベース背面にある取扱説明書収納スペースに大切に保管して下さい。

目次

1. はじめに	11
2. 安全に関する注意	11
3. お使いになる前に	14
4. 車両への取り付け	14
5. お子さまの乗せ方(ベルトの肩位置高さ調整方法)	15
6. 後ろ向き／前向きの使用方法	16
7. リクライニング機能	16
8. 車両からの取り外し	16
9. シートカバーの取り外しとお手入れ方法	16
10. サンキャンピーの取付け (該当モデルのみ)	17
11. 一般的な注意事項	17
12. 保証について	17
13. 車両座席の保護	17

1. はじめに

注意：本製品を持ち運ぶときはお子さまを乗せないでください。持ち運びするときはシートベースの左右を持ち、ベルト、ISOFIXコネクタ、サポートレッグ、シートシェルは持たないでください。またサポートレッグの可動部などで手などを挟まないようにしてください。

本装置はi-Size改良型幼児拘束装置です。本装置は、主に車両のユーザーマニュアルに表示されているi-Size適合車両着座位置で使用するものとして、協定規則第129号(UN R129)に従い認可されています。

本製品はおもに車両のi-Sizeチャイルドシート対応座席に取り付けることができます。取付けできる座席については車種適合リスト及び車両の説明書を確認してください。最新の車種適合リストは弊社ホームページ(www.recaro-kids.jp)にてご確認ください。

適応条件

<車両の進行方向に対し後向き>

新生児(身長40cm以上)～4歳ころ(身長105cm以下、体重18kg以下)で使用可

サンキャノピー使用可

身長80cm以下かつ体重11kg以下のお子さまは必ずベビーサポートクッションを使用すること

<車両の進行方向に対し前向き>

月齢15ヶ月かつ身長76cm以上～4歳ころ(身長105cm以下、体重18kg以下)で使用可

サンキャノピー使用不可

身長80cm以下かつ体重11kg以下のお子さまは必ずベビーサポートクッションの使用すること

※お子さまの月齢が15ヶ月に満たない場合や、身長76cm未満の場合は、前向きで使用しないでください。

※お子さまの月齢が15ヶ月かつ、身長76cm以上の場合は前向き/後向きのどちらでもご使用いただけます。

各部の名称 (図1、2)

1 シートシェル	11 ASP (側面保護機能)
2 シートベース	12 ベビーサポートクッション
3 サポートレッグ	13 回転操作レバー
4 インジケータ	14 ISOFIXコネクタ調整レバー
5 ISOFIXコネクタ	15 リクライニング操作レバー
6 ヘッドサポート	16 ヘッドサポート高さ調整レバー
7 ベルト	17 サポートレッグ長さ調節ボタン
8 パックル/差込タンク	18 ISOFIX解除ボタン
9 肩パッド	19 アジャスタボタン
10 アジャスタベルト	20 シートベースカバー

2. 安全に関する注意

- 安全のため、本製品を使用する前に本書をよく読んで、十分理解してから正しくご使用ください。
- 本製品はたとえ使用していない時でも、常に取扱説明書および本体表示に従って取り付けなくてはなりません。緊急時に本製品が壊れてたり、確実に取り付けられていないと同乗者がけがをする恐れがあります。
- チャイルドシートは交通事故などの際にお子さまの傷害の軽減を目的としており、必ずしも無傷で守るものではありません。

- <危険> 取り扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を負う危険が切迫して生じます。
- お子さまを車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となります。チャイルドシートを使用するときは保護者のかたが同乗して常に見守ってください。日差しの強い日は車内温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。
- お子さまを乗せたときには、ベルト、股パッド、肩パッドが正しく装着され、左右の差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれて抜けないことを確認してください。
- お子さまがバックルボタンを押ししてしまう可能性があります。差込タンクがバックルからはずれていないことを常に確認してください。はずれていると本来の機能を果たさないばかりか、シートベルトが首に巻き付くおそれがあります。
- アジャスタベルトがお子さまの体に触れないよう注意してください。首などに巻きつき窒息するおそれがあります。
- お子さまがチャイルドシートの上に正座をしない、中腰にならない、立たないように注意してください。
- 車両に取り付ける場合は、取扱説明書および本体表示に従ってISOFIXコネクタを車両の取付け金具に固定し、インジケータが緑色に変わっていることを確認してください。また、チャイルドシート本体を前後左右に強くゆすり、確実に取り付けられていることを確認してください。
- ISOFIXコネクタを車両の取付け金具に固定する場合は、周辺に障害物が無いか、車両シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。
- 本製品を車両シートベルトやひも、ロープなどで固定しないでください。
- チャイルドシートが本来の機能を発揮できず危険を招くおそれがありますので、次のような方法では使用しないでください。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席では使用しない
- ベルトにねじれ、ゆるみ、たるみがある状態で使用しない。お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。
- サポートレッグを折りたたんだ状態で使用しない
- ヘッドレストが極端に出っ張っている座席で使用しない
- 車両の内装や座席の形状により正しく取り付けができない、チャイルドシートの回転やリクライニング操作、ヘッドサポートの高さ調節ができないなどの場合は使用しない
- 次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。
- エアバッグが装備されている座席で使用しない(サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみ装備の座席を除く)
- 助手席で使用しない
- 車両の工場出荷時と異なる座席で使用しない(市販の座席に交換した車両など)
- 車両の座席や取付け金具に損傷がある場合は使用しない
- 車両進行方向に対して横向き、または後向き座席で使用しない
- 座席の形状が極端に凹凸で、取り付けたときにチャイルドシートが不安定になる座席で使用しない
- サポートレッグの先端が届く位置に、車両のスライドレールや床下収納スペース、エアコン吹き出し口や凹凸部分、その他の障害がある座席では使用しない
- 車両の床に対して座席の座面が低いまたは高い座席、または床の形状などにより、サポートレッグを正しく装着できない座席で使用しない
- チャイルドシートを、車両の進行方向に対して横向きにしたままで走行しないでください。
- 事故など緊急時は保護者の方がバックルボタンを解除し、シートベルトをはずして速やかにお子さまを車外の安全な場所に脱出させてください。万一バックルが外れないときは、ハサミなどでシートベルトを切ってください。
- <警告> 取り扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。
- 製品の回転、リクライニング、ASP(側面保護機能)、ヘッドサポート、サポートレッグ、ISOFIXコネクタなどを操作するときは、お子さまや隣に座っている同乗者及び操作する人の、手や足や体の一部を可動部に挟まないように注意してください。
- リクライニング操作をするときは必ずお子さまをチャイルドシートから降ろし、お子さまをチャイルドシートに近づけない状態にしてから行ってください。可動部に手や足や体の一部を挟むおそれがあります。
- リクライニングによって開いた隙間に、手などを入れてないように注意してください。
- お子さまが厚着のままで使用しないでください。しっかりと拘束できなかったり、抜け落ちたりするおそれがあります。車内を適切な温度にしてから上着を脱ぎ、出来るだけ薄着で使用してください。
- お子さまの服や靴のひも、コードなどが、チャイルドシートに引っかかったり巻き込まれたりしないよう注意してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作をしないでください。また同乗している他のお子さまなどがチャイルドシートに触らないように注意してください。可動部や隙間に手などを挟んだり、チャイルドシートが車両から外れたりするおそれがあります。
- 本製品を車両に取り付けたり取り外したりする時や、お子さまの乗せ降ろしや各操作を行う時は、車両を平らで安全な場所に駐車してから行ってください。

- このチャイルドシートは、車種適合リストにて取り付け可能な車両座席以外では使用しないでください（車種適合リストはアルツァーナジャパンのホームページ等で公開しています）。
- 緊急時の脱出の妨げになる座席に、チャイルドシートを取り付けしないでください。
- シフトレバーやパーキングブレーキ、ミラーなど、運転操作に支障をきたす座席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- サイドエアバッグやカーテンエアバッグの近くで使用する場合は、お子さまの体がそれらにもたれかからないようにしてください。エアバッグが膨らんだ際は大変危険です。
- 衝突事故にあつたり落下させたりなど、一度でも強い衝撃を受けた履歴のあるチャイルドシートは使用しないでください。外観上問題が確認できなくても内部で破損していることがあります。
- チャイルドシートの使用履歴がわからない場合（中古品やレンタルなど）は使用しないでください。
- チャイルドシートを使用しないと必ず車両に固定し、チャイルドシートの差込タンクをバックルに挿してください。急ブレーキの時に車内に転がり危険です。
- 車両の座席から取り外したヘッドレストや、チャイルドシートから取り外した部品は、車両から降ろしてお子さまの手が届かない場所に保管してください。車内に置いたままにすると急ブレーキや衝突時に人にあつたり、運転操作に支障をきたしたりするおそれがあります。
- チャイルドシートを安全にお使いいただくために、走行前には必ず次のことを確認してください。
- チャイルドシートが車両に確実に固定されている（本体を前後左右にゆずり確認する）
- ベルトが正しい位置になるように、ヘッドサポートの高さが調節されている
- ベルトにゆるみ、たまり、まじれがない
- ベルトの腰側をお子さまの腰部に密着させ、腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにする
- ベルトの肩側を常に肩の中央にかかるようにする。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにする。
- 差込タンクが左右ともしっかりとバックルに差し込まれ、抜けない
- サポートレグが車両の床から離れていない
- 回転やリクライニングのレバーが元の位置に戻っていて、シートシェルがシートベースに確実に固定されている
- ISOFIXコネクタが車両の取り付け金具にしっかりと固定されている
- 全てのインジケータが緑色になっている
- お子さまの月齢が15ヶ月かつ、身長76cmを超えるまでは前向きで使用しないでください。
- お子さまの体への負担を軽減するため、連続して1時間以上使用しないでください。
- お子さまを座らせたときに、後頭部がヘッドサポートから上に出るときは使用しないでください。
- シートカバーや内蔵されているパッドやウレタンなどを取り外した状態で使用しないでください。
- 購入時に本製品が入っていたビニール袋はすぐに廃棄してください。
- 挿入ガイドやサンキャノピーを使用しない場合は、お子さまの手が届かない場所に保管してください。
- 本製品を取扱説明書に記載されていない方法で使用しないでください。
- 製品がリコールなどのときに連絡できるよう、購入後すぐに使用者の登録をしてください（登録方法は付属のお客様登録カードをご覧ください）。
- **<注意> 取り扱いを誤ると、重大な傷害や物的損害を負うおそれがあります。**
- 製品にお子さまを乗せたまま持ち運びしないでください。持ち運びするときはシートベースの左右を持ち、ベルト、ISOFIXコネクタ、サポートレグ、シートシェルは持たないでください。またサポートレグの可動部などで手や体を挟まないよう注意してください。怪我をするおそれがあります。
- 爪を伸ばしていたり、付け爪をしたりしていると、操作をするときに巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。
- チャイルドシートに直射日光があたると本体やサポートレグ、差込タンクなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。屋内の涼しい場所に駐車するかカバーなどをかけて温度が高くないようにしてください。また、お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くなっていないことを確認してから使用してください。
- お子さまだけで乗り降りさせないでください。必ず保護者の方が乗せおろしをして正しく使用してください。
- バックル及びリクライニング、回転部分の隙間に、ゴミや飲食物などが入らないよう注意してください。故障の原因となります。
- バックルにゴミや飲食物などが詰まって確実に差し込めないとき、または解除しにくいときは使用しないでください。
- ベルトに傷がついたときは使用しないでください。
- お子さまがサンキャノピーに触れないように注意してください。チャイルドシート本体にサンキャノピーが正しく取り付けられ外れないことを確認してください。ジョイントが外れたり誤った取り扱いをすると、お子さまに接触して怪我をするおそれがあります。
- オープンカーや窓を開けて走行する場合はサンキャノピーを取り外してください。風にあおられると危険です。
- サンキャノピーは、前向きで使うときや、お子さまの頭が接触する場合は取り外してください。

- 後ろ向きで使うときは、シートベースカバーを取り付けてください。
- 回転操作をする場合に、チャイルドシートの背もたれなどが車両の座席や内装・ドアなどにあたるときは、無理に回転させないでください。損傷や故障の原因となります。
- 改造や分解をしないでください。予期せぬ事故につながるおそれがあります。また、取り付けられているラベルやシールは外さないでください。
- チャイルドシートが故障や劣化したときは使用しないでください。
- 工場出荷時に取り付けられている部品や純正品以外の部品は使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- チャイルドシートを固定した後は、車両座席を調整しないでください。
- 車両座席にクッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けしないでください。チャイルドシートがしっかりと固定されません。
- チャイルドシートを屋外の風雨、火にさらさないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないようにしてください。
- チャイルドシートを取り付けた車両の座席や内装には傷や跡、汚れがつくおそれがあります。
- お子さまの服や靴の面テープなどがシートカバーに引っかかるように注意してください。シートカバーが破損することがあります。

3. お使いになる前

- 本製品は工場より進行方向に対して前向き状態で出荷されます。お子様の月齢が15ヶ月かつ、身長76cmを超えるまでは後向きで使用ください(図25)。
- シートシェルを回転させ、シートベースの背面上部へシートベースカバーを取り付けてください(図3)。
- 回転操作方法については、6章を参照してください。

4. 車両への取り付け

- 車両のISOFIX取付け金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属の挿入ガイドを図4のようにISOFIX取付け金具に使用することで取り付けしやすくなります。ただし、車両座席の形状により挿入ガイドが取り付けできないときは、挿入ガイドは使用しないでください。注意：挿入ガイドを使用しないときは、お子さまの手の届かない場所に保管してください。重要：車両の座席にリクライニング機能がある場合は、あらかじめ座席の背もたれを少し後方へ倒しておきます。
- サポートレッグをいっぱいまで開いてください(図5)。
- 重要：サポートレッグにはロック機能がありません。可動部で手などを挟まないようにしてください。チャイルドシートを使用するときはサポートレッグを常に開いた状態にしてください。また、サポートレッグをシートベース底面側へ折りたたんだ状態でシートシェル側から荷重をかけないでください。故障の原因となります。
- チャイルドシートを取り付ける前に、車両座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずしてください。チャイルドシートの一部が車両座席のヘッドレストに干渉して各操作ができなかったり、チャイルドシートを車両に確実に取り付けできない場合があります。また取り外したヘッドレストは車内に保管しないでください。図6のように、サポートレッグの上部にあるISOFIXコネクタ調整レバーを引き上げたまま、ISOFIXコネクタをいっぱいまで引き出します。この際、調整レバーは水平以上に引き上げないでください。故障の原因になります。重要：ISOFIXコネクタを車両の取付け金具に差し込む前には、インジケータのISOFIX表示(左から1つめと4つめ)が左右とも赤になっている必要があります。
- 左右のISOFIXコネクタを、車両のISOFIX取付け金具へカチッと音がするまでしっかり押し込みます(図7)。
- 重要：左右のISOFIXコネクタが車両のISOFIX取付け金具に取り付けられると、インジケータのISOFIX表示(左から1つめと4つめ)が左右とも緑に変わります(図8)。
- ISOFIXコネクタ調整レバーを引き上げたまま、シートベースが車両座席の背もたれに接するように本体を押し付けてください(図6)。注意：車両の座席にリクライニング機能がある場合は、チャイルドシートのシートベースと座席が出来るだけ密着するよう、座席の背もたれを前方へ起こしてください。座席の形状により、シートベースが完全に背もたれへ密着させることが難しい場合や、リクライニング機能がない場合は可能な限りISOFIXコネクタ周辺を背もたれ下部へ接近させてください。重要：さらにチャイルドシート本体を前後左右に強くゆすり、確実に取り付けられていること(目安としてズレ3cm以内)を確認してください。
- サポートレッグを手前いっぱい開いたままボタンを押し、サポートレッグが車両の床に接するよう長さを調節してください(図10)。注意：インジケータのサポートレッグ表示(左から2つめ)が緑色に変わるように操作してください。サポートレッグは車両の床に対して斜めになることもあります。
- 重要：インジケータのサポートレッグ表示(左から2つめ)が緑に変わっていることを確認してください(図9)。表示が赤のままのときは、再度サポートレッグの長さを調節してください。

- 万一の事故に備え、本体側面にあるASP（側面保護機能）を左右いずれか片方のみ開いておいてください。お子さまの身長及び月齢に合わせた正しい向きに固定した後に（6章を参照）、車両ドアが近い側の窓図11のように引き出しておきます。
- 注意：車両ドアが遠い側のASPは閉じてください。また、チャイルドシートの隣に座ったお子さまなどがASPに触れないようご注意ください。可動部で怪我をするおそれがあります。回転操作のときに車両座席や内装にASPが干渉する場合は閉じてください。
- 本製品はASPを開かなくても横の衝撃に対して十分な耐久性がありますが、もし車内にスペースがある場合は車両のドアに向けてASPを開くことを推奨しております。

5. お子さまの乗せ方（ベルトの肩位置高さ調整方法）

- 肩ベルトはヘッドサポートと一緒にお子さまの身長に合わせて調整することができます。お子さまをチャイルドシートへ深く座らせ、ベルトの肩位置がお子さまの肩の高さに最も近づくよう調整してください。
- 重要：本製品を後向きで使用する場合、ベルトの肩位置はお子様のお肩の高さか、肩の高さよりも一段下に合わせてください。また、前向きで使用する場合、ベルトの肩位置はお子様のお肩の高さか、肩の高さよりも一段上に合わせてください。

ヘッドサポートの高さ調整

- 高さ調整をするときは、ヘッドサポート高さ調整レバーを引き上げたまま、上下に動かし調整します（図13）。
- はじめにベルトを引き出し緩めておきます（図15）。ベルトの肩位置がお子さまの肩の高さに最も近づく位置に、ヘッドサポートを調整してください。調整後は上下にゆらして動かないことを確認してください。ヘッドサポート付近からキンコ音が発生する場合がありますが、安全性に問題はありません。
- 図15のように、アジャスタボタンを押したまま、ベルトを引き出します。重要：ベルトを引き出す際は、ベルトのみを左右同時に引っ張ってください。肩パッドの部分を引っ張っても、ベルトは引き出せません。また、左右いずれかのベルトを片側ずつ引っ張ることはしないでください。操作不能など故障の原因になります。
- バックルの赤いボタンを押して、差込タンクを外します（図16）。重要：バックルのボタンはお子さまの力で外れにくいよう、固めに設計されています。
- あらかじめ、ベルトと差込タンクを広げておきます（図17）。
- ドア側や隣の座席からお子さまを乗せたい場合は、シートシェルを横に回転させてください。（6章参照）。
- 本製品にお子さまを深く座らせ、お子さまの肩へベルトを通します。ベルトを付ける際はねじれがないようにしてください（図18）。
- 左右の差込タンクを組み合わせて、バックルに押し込みます。このときカチッと音がして、抜けないことを確認してください（図19）。
- アジャスタベルトを手前に引き、ベルトにゆるみ・たるみ・ねじれが無いようにベルトの長さを調整してください（図20）。お子さまの服装は厚着にならないようにしてください。ベルトが正しく装着できない場合があります。
重要：お子さまの体とベルトの間に、大人の指が1本入る程度までしっかり拘束してください。
- 重要：アジャスタベルトは製品に対し真っすぐ引っ張ってください。左右に偏った引っ張り方をすると故障の原因になります。
- 重要：お子さまが乗車されていない状態で、アジャスタベルトを引っ張らないようにしてください。空席の状態ではアジャスタベルトを引っ張ると操作不能など故障の原因となります。
- アジャスタベルトの引き出し口や、バックル/差込タンク等に異物の侵入や付着がないようこまめに清掃してください。異物の付着や侵入は故障の原因となります。
- 重要：ベルトの腰側をお子さまの腰部に密着させ、腰骨のできるだけ低い位置にかかるとよいです。ベルトの肩側は肩の中央にかかるとよいようにしてください。
- 車両の前後方向以外（シートシェルが横向き状態など）でお子さまを乗せられた場合は、必ず図20までの操作を完了してから回転させてください。
- 重要：お子さまの身長が80cm以上、かつ体重が約11kgになるまではベビーサポートクッションをお使いください（図21）。身長が80cmに満たない場合、かつ前向きで使用される場合でも、80cmかつ体重が約11kgになるまではベビーサポートクッションをお使いください。
- 肩パッドのグリップテープは確実に取り付けられていることを確認してください。
- 必要に応じてベビーサポートクッションの横のクッションを取り外すことができます。
- ベビーサポートクッションはバックルを外しベルトを外側に置いて取り外すことができます（図22）。ベビーサポートクッションは後で使えるよう乾いた、ほこりのない場所に保管ください。

6. 後ろ向き／前向きへの使用方法

- お子さまの乗降させる際の利便性を考慮し、本製品を横向きに回転することができます(図23)。
- シートシェルを回転させるには、左右いずれかの回転操作レバーの中央にあるボタンを押し下げながら、レバーを引く。シートシェル部分を手で持ち、ゆっくりと回転させます(図24)。
- お子さまを乗せ、ベルトを装着したらお子さまの適応条件に合わせた正しい向きに固定します(図25、図27)。
- シートシェルの回転機能が確実にロックされているかを確認してください。
- 重要：インジケーターの回転ロック表示(左から3つめ)が緑に変わっていることを確認してください。また、シートシェルを前後左右にゆすり、確実にロックされていることを確認してください(図26)。
- できるだけ長くお子様を後向きの状態使用することを推奨しております。
- お子さまの月齢が15ヶ月かつ、身長76cmを超えた場合は、前向きまたは後向きのどちらでもご使用いただけます(図27)。
- 重要：回転操作をする際は、可動部にお子さまや同乗者および操作する人の手や身体を挟まないようにご注意ください。
- 重要：進行方向に対し、横向きでの固定や使用をすることはできません。

7. リクライニング機能

- リクライニング角度は5段階でお好みの角度に調整可能です。リクライニングの調整を行なうには、シートシェルの前側にあるリクライニング操作レバーを手前に引き、角度を調整してください(図28)。
- お好みの角度に調整後、リクライニング操作レバーから手を離し、シートシェルの座面部分を前後にゆすり、リクライニングが確実に固定されているかを確認してください(図29)。
- 重要：リクライニング操作をする際は、必ずお子さまをチャイルドシートから降ろし、お子さまをチャイルドシートに近づけない状態にしてから行ってください。可動部へ操作する人や同乗者およびお子さまの手や身体を挟みけがをする恐れがあります。
- 重要：リクライニング操作によって開いたスキマなどに手や身体を入れないようにしてください。けがをする恐れがあります。

8. 車両からの取り外し

- はじめにサポートレッグを最も短くしておきます。次に、シートベースにあるISOFIX解除ボタンを左右とも図30のように、小さいレバーを押し下げたまま、大きいレバーを強く手前に引くと、車両の取り付け金具からISOFIXコネクタが外れます。そのままチャイルドシートを少し前方にずらし、車両から取り外します。
- サポートレッグはシートベースの底面側へ折りたたんでください。
- 重要：サポートレッグにはロック機能がありません。可動部で手などを挟まないようにご注意ください。
- 重要：挿入ガイドを使用していた場合は、取り外してお子さまの手の届かない場所へ保管してください。

9. シートカバーの取り外しとお手入れ方法

- シートカバーなど縫製品を洗濯する際には以下の点にご確認ください。
- お洗濯の際、カバーに内蔵されているパッドやウレタン類はあらかじめ全て取り外してください。また、お洗濯後はもとの位置に戻してください。
- 液温は30℃までとし、手洗いして下さい。
- 蛍光増白剤や塩素系漂白剤は使わないでください。
- アイロンを掛ける場合は低温で行ってください。
- ドライクリーニングはしないでください。
- 脱水機は使用しないでください。また強く絞るとしわや破れの原因となります。
- 陰干ししてください。
- 色落ちする場合がありますので、他のものと一緒に洗濯しないでください。
- 手を傷つけないよう、必要に応じて手袋などを着用してください。
- ベルトをお手入れいただく場合は、固く絞った布で水拭きしてください。また、汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、陰干ししてください。

<取り外し方法>

- 図31のように面テープを取り外し、肩パッドをベルト(グリップテープ)から外します。
- 図32のようにスナップボタンを取り外し、肩ベルトを外します。
- 図33のようにヘッドサポートの後ろにあるスナップボタンを取り外します。
- ヘッドサポートカバー全体を手前に抜き取ります(図34)。
- 背もたれカバーは、図35のようにスナップボタンをすべて外してから、下方に抜き取ります。
- カバーの下部を外すには、図36のように面テープを外します。
- バックルカバーからバックルを抜き取ります(図37)。
- シートシェルの外側にある面テープを外しカバーを取り外します(図38)。

- サイドサポートのカバーは、背面中央上部のゴムループとスナップボタンを外します(図39)。
 - 次に、サイドサポートカバー左右内側のスナップボタンを外します(図40)。
 - サイドサポートカバー全体を上方に抜き取ります(図41)。
 - ベビーサポートクッションを洗濯する前にウレタンを取り外してください(図42、43)。
- <取り付け方法>**
- 洗濯した後はカバーを完全に乾かしてください。その後に取り外し方の逆の手順で元に戻してください。すべてのカバー・パッド・ウレタンを元通りに正しく取り付けてください。

10. サンキャンピーの取付け(該当モデルのみ)

- 左右末端のジョイントを、本体シェル側面にある差し込み口(本体シェルとシートカバーの隙間)へ、図のようにしっかりと挿入します(図44)。※差し込む位置は、ラインを目印にしてください。
- 図45のように、サンキャンピーの末端を本体シェルの隙間へ収めていきます。
- サンキャンピーは先端を引っ張ることによって開閉が可能です。また、内側にエクステンション部が折りたたまれています。エクステンション部を使用する際は、内側から引き出してください(図46)。
- 重要: 進行方向に対し前向きで使用される場合は、サンキャンピーを取り外して使用してください。お子さまの体格によっては、リブなどで怪我をするおそれがあります。

11. 一般的な注意事項

取扱説明書はシートベース背面にある取扱説明書収納スペースに収納されております。いつでも読み返すことができるよう、使用した後は必ず元の場所に戻してください。

12. 保証について

保証書の規定に基づき保証いたします。

13. 車両座席の保護

本製品の使用によって車両の座席や内装が損傷を受ける可能性があります。UN R129.00では、チャイルドシートは車両に確実に固定することを義務付けています。チャイルドシートを取り付けの際は、車両の座席(シートカバー等)が破損しないよう注意してください。アルツアーナジャパン株式会社とその販売会社は車両の座席や内装の損傷に対する一切の責任を負いません。

RECARO チャイルドシート保証書

アルツアーナジャパン株式会社

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-5-15 新大阪セントラルタワー 10F

コールセンター 0120-356-434

本証書は、下記の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社コールセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問い合わせください。

※ 本証書に所定事項が記入されていない場合は無効となり、保証を受けることができません。必ずお買い求めの販売店で記入捺印を受けてください。(記入捺印の不可能な場合は、お買い求めの販売店発行の領収書または購入月日、店名を証明できるものを必ず貼っておいてください。)

その他不明な点についてのお問い合わせは、当社コールセンターへご相談ください。

※ 本証書の再発行は致しませんので大切に保存してください。

保証規定

- 保証期間内(ご購入日より1年間)に正常な使用状態で、万が一故障した場合、**無料で修理**いたします。修理内容によっては修理ができません。修理できない場合は、当社指定の代替品と交換となります。詳しくは、当社コールセンターへお問い合わせください。
- 保証期間内においても次の場合には有料となります。
 - 樹脂部品(プラスチック、発泡素材)の目録化による変色。
 - 本体の縫製部品、発泡素材の汚れや損傷、色あせ等。
 - お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
 - 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - 本証書のご提示がない場合。
 - 一般家庭以外、業務用やレンタル等でご利用された場合。
- 有償修理の場合に要する運賃などの諸経費。
- 廃棄になった製品の返品は、お受け致しかねます。
- 補修部品の在庫が無くなった場合、修理ができません。
- 故障内容によっては修理ができません。修理できない場合は、当社指定の代替品と交換となります。詳しくは、当社コールセンターへお問い合わせください。
- 衝突事故や落下破損など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理や交換は承っておりません。
- 本証書は、日本国内においてのみ有効です。海外からのサービスは致しかねます。
- 当社正規販売店以外でご購入された製品については、保証致しかねます。
- 修理期間中の代替製品はご用意できません。予めご了承ください。

ご購入日 年 月 日 保証期間 ご購入日より 1 年

お客様名 様 〒

ご住所

販売店名 印 Tel.

住所

(シリアルナンバーをご記入ください)

発売元：アルツアーナジャパン株式会社
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15
新大阪セントラルタワー10F
コールセンター 0120-356-434(フリーコール)

製造元：Artsana S.p.A.
Via Saldarini Catelli, 1
22070 Grandate (CO) Italy